



Bozak®

NUBIAN
heading forward while looking back

BOZAK × NUBIAN T-Shirts

Interview Jun

Photography Ken Minami

1950年、スピーカーや音響機材を作る研究会社として米国コネチカット州に開発者であるルーディー・ポーザックの名字をとって名付けられた会社『Bozak』が設立された。ポーザック氏は、楽器で有名なWulizer(ワリツァアー)の内部スピーカーやアンプ界のキングMachitoshi(マッキントッシュ)専用スピーカーの設計などを手がけた事でも有名な人物でもあるが、第二次世界大戦時はレーダーの部品開発や潜水艦の音響感知システムなども手がけた米軍機器で重要な人物でもあった。『Bozak』は世界で初めてDJ対象に製作したDJ用入力ミキサーを発売した事でも有名である。すべて高度なアナログ・パーツを使い、最高の音を出すこの機材は、入力チャンネルごとに単独の高度な端子を導入する事で、暖かくして広がりのある音をつくる構造の開発をした。その成功はのちのDJ達が好き好んで使う様になったDJミキサーUREIにも反映され(UREIが構造をコピー/クローンする)今世界中のクラブで使われているミキサーRANE社のロータリーミキサーとしてその伝統を受け継ぐ事になる。『Bozak』が特に話題になったのは1960年代に発売した6チャンネル又は10チャンネルのDJ用ミキサーが『パラダイス・ガラージ』の看板DJのラリー・レバンが好き好んで使っていたからだ。パラダイス・ガラージはポップ・アーティストのキース・ヘリングも好んで通っていた事でファッション界でも有名になった他、ガラージ音楽と言われる曲のスタイルの由来にも繋がったなど、世界的に影響を及ぼしたクラブでもあったため、このミキサーも伝説の一部として世界に名前を残す事になる。その『Bozak』が20年の眠りから覚め、昨年に復活した。復活を企てた今企画の中心人物であるケヴィン・ヘッジ(BLAZE)にBozak復活までの話と、日本限定T-Shirts企画について話を聞いてみた。

まず、Bozak復活までの経緯を教えてください。

すべてはポール・モリシーとの出会いからはじまるんだよ。「ベルジンのクラブでDJしている時に使った4チャンネル・アイソレーターが良い。他は3チャンネルで、それも好きだけどやっぱり4チャンネルがいい」みたいな会話をしていたんだ。そうしたら実は彼がそのベスタックスの4チャンネル・アイソレーターの開発者の一人だと言い出したんだ。当初、自分達の音を追求できるブランドを探していて実は他のブランドの開発をポールと進めるはずだったんだ。でも中々話が進まなく困っていた時ポールがBozakの話を持ち出してきたんだよ。ポールはサウンドクラフトやベスタックスの製作に関わっていたとてもまじめで、音質に対して真剣に取り組んでいる人間で、その彼が20年近く眠っていたこの伝説のブランドBozakの商標を購入し、1から音のクオリティーを考えようというアイデアで、再起動は実は彼の音の挑戦みたいな夢のプロジェクトでもあるんだよ。そしてその夢のアイソレーターが今の3チャンネル4チャンネル可変アイソレーターISO-Xだよ。最初はEQの開発から入ってそしてミキサーという感じになっている。

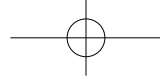
Bozak機材を最初に体験したのはいつごろですか？

Bozakの音を最初に聴いたのはパラダイス・ガラージでラリーが使っていた時だね。あの時はまだ僕は若手DJで音楽を聴きに通っていた。当時の思い出が今でも忘れられないよ。パラダイス・ガラージにあったBozakのミキサーには本当に驚かされたね。レコードの現音がそのままはっきりと聴こえてく

るんだ。当時の思い出が今でも忘れられないよ。そして今回リリースされるミキサーの凄いいところは今の最新のテクノロジーでその昔の同じような音の表現が今回のBozakのミキサーでも再現している事だよ。ポールはすごい事を実現したのさ！

Bozakと言えばパラダイス・ガラージで使用されていた重要な機材として知られていますが、パラダイス・ガラージと言えばマドンナやキース・ヘリングがよく遊びに来ていた伝説的クラブでした。現在のクラブと比べて何か違う所はありますか？ファッションや芸術など当時の様子を教えてください。

今も昔もクラブによってファッションセンスの富んだ独創的なアーティストが集まる場所が存在する。例えば僕がルイ(・ベガ)と毎週水曜クラブCIELOで行っているパーティーにもアーティストのシャキラからサーキットソレーのダンサーまでみんなそのようなアーティストが遊びにきてくれている。ポップな文化はいつも音楽を通して人を集め、そして心が通じ合いつになり新しい文化が生まれるのさ。Bozakが始まった時代、そしてパラダイス・ガラージがあった時代と今でも音楽の意味合いは同じで、音楽は常に楽しい時間を皆が過ごすために存在するんだと思う。『If you can all dance together than we can live together.』みんな一緒に踊れるならみんな仲良く暮らせるんだと大の親友で僕の伯父さんの存在のメルシャラン(westend レコードの創立者)もよく言っていた。音楽は人を引き寄せる力があって、それにより集まった人の文化などすべての協調を保っている大事な部分



でもある。その考えが当時のパラダイス・ガラージから今でも引き継がれていて、音楽があったからこそ人種や思考の境を超えられる文化が生まれて来たんだ。当時その文化の中心がパラダイス・ガラージであって、その中心を操っていたのはDJであったりDJがかかる音楽であったり、今も昔も何が影響の中心であるかは変わっていないと思う。文化はただ単に芸術の固まりではなく、世の中の人々がどう感じるかの象徴であって、音楽がよく聴こえるという事は気持ちの高まり方も違う。そしてその気持ちが良い環境を提供できる事は人の気持ちにも影響してくると感じる。Bozakは世界初のDJミキサーで、はじめて音楽がミキサーというものを通してパラダイス・ガラージの様な音響システムの環境で人々に演奏させたんだ。そして当時人々がその音楽に影響された様に、今も音楽で影響を受けさせられ、そしてその様な音を提供する。Bozakブランドは文化への影響であったり、音楽とそのメッセージ性のような、色々な意味合いの象徴でもあると思う。

日本のアパレル・ブランド「NUBIAN」が、Bozakとのコラボレーション/記念T-Shirtsをつくりましたが、

このコラボT-Shirtsはとてもいいアイデアだと思うよ。前にも言ったようにBozakと文化そして音楽とそのメッセージの伝え方、音楽は文化の象徴でそれをファッションを通して伝えていける事はすごく素晴らしい事だと思う。特にデザインで言えば使い込んだ『Bozak』ロゴの感じがいいね。この感じはうまく『Bozak』のメッセージを伝えていていると思う。日本で僕がDJする時にも是非着たいし、そしてプレイを見に来てくれるお客さんとか着ていたら、何か、お互い気持ちが伝わっていると感じてしまうかも(笑) でも日本だけのプロジェクトとは残念だね。今週CIELOでDJする時に着る予定だけど、きっとこっちの人がほしがらんだろうな。

あなたはダイアナ・ロスからアレサ・フランクリンまで色々な人と仕事をしてきましたが、昔と今では音楽業界はどこが変わりましたか？

今までと音楽業界の違いは、テクノロジーだと思う。当然プロダクション面

でのコンピューターが中心の製作方法であったりするけど、どちらかと言うと音楽自身の流通方法だと思う。テクノロジーの進化で流通方法も変われば、当然マーケティング方法も違ってきてる。

デジタル・ミキサーが流行っていたり、DJのミックスまですべてコンピューターの中でやってしまえる今日、なぜアナログ・ミキサーを薦めているのですか？

アナログ・ミキサーはデジタルと違い、ある特殊な音の暖かみを与える。もしデジタル音がそれ程までによければProtools社であったりWaves社はデジタル音をアナログ音のように聴こえさせるプラグインを作ったりしないと思う。僕はいつも理解ができないんだよ。ここ最近、人はデジタル・ファイルで音楽を欲しがるとアナログ的な音で聴きたい。だからBozakはデジタル音を昔ながらの暖かく音の厚みのある、人が聴いて心地よいアナログ的な音にする事を考えたんだ。CIELOで僕が毎週DJする時、CIELOの機材は75%がデジタルで25%がアナログになっている。そしてその25%の中でBozakが前面の機材一部としてアナログ音を支える事によって、あのすばらしい暖かい音を作りだしているんだ。●

NUBIAN x BOZAK Official T-Shirts

各6,090円【税込】

[問] vendor

Tel : 03-3463-9151